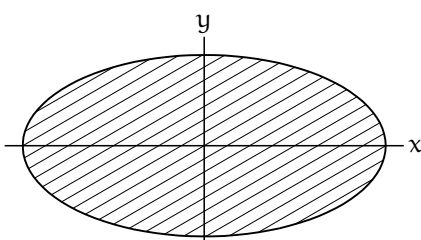


1. 次で与えられる閉曲線 C に対し、線積分 $\int_C (x+y) dx + xy dy$ の値を求めよ。

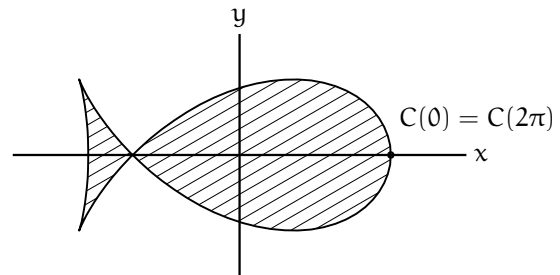
- (1) 3点 $A = (1,0)$, $B = (0,1)$, $O = (0,0)$ を通る折れ線 $ABOA$
- (2) 反時計回りに向き付けられた、原点を中心とし半径が1の円

2. Green の定理を利用して、次で与えられる曲線で囲まれる領域の面積を求めよ:

- (1) 方程式 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ($a, b > 0$) と表せられる曲線を楕円といい、 $C(t) = (a \cos t, b \sin t)$ ($0 \leq t \leq 2\pi$) とパラメータ表示できる。楕円で囲まれる領域の面積を求めよ。
- (2) $C(t) = \left(\cos t - \frac{\sin^2 t}{\sqrt{2}}, \cos t \sin t \right)$ ($0 \leq t \leq 2\pi$) と表せられる曲線を fish curve という。fish curve で囲まれる領域の面積を求めよ。(頭と尻尾の方の2つの領域に分けて考えよ。また、曲線の向きに注意せよ)



楕円



fish curve

3. $P(x, y) = x - y \sin x$, $Q(x, y) = \cos x - y^2$ とおく。

- (1) 任意の単純閉曲線 C に対して、線積分 $\int_C P dx + Q dy$ の値が0になることを示せ。
- (2) 始点を原点 $(0,0)$ 、終点を点 (x, y) とする、区分的になめらかな有向曲線 \tilde{C} を考える。前問より、線積分 $\int_{\tilde{C}} P dx + Q dy$ の値は、このような曲線 \tilde{C} の取り方に依らず決まる。したがって、関数 $\varphi(x, y)$ を次のように定義することができる:

$$\varphi(x, y) = \int_{\tilde{C}} P dx + Q dy$$

この関数 $\varphi(x, y)$ を具体的に求めよ。(\tilde{C} の取り方に依らずに線積分の値が決まるので、 \tilde{C} として折れ線など簡単な曲線でこの線積分を計算すると良い)

(3) 前問で求めた $\varphi(x, y)$ は

$$\frac{\partial \varphi}{\partial x} = P(x, y), \quad \frac{\partial \varphi}{\partial y} = Q(x, y)$$

を満たすことを示せ。